

## テーマ：地球を守る私たちの責任と約束 — チャレンジ25 — (仮)

### 序章 地球の行方

世界と日本の行方

世界の人口変動、資源の状況、経済活動等について、マクロデータによりトレンドを概観する。また、日本の状況も考察し、比較的に捉える。

### 第1章 地球とわが国の環境の現状

1 地球温暖化の状況、2 地球環境・大気環境・水環境及び土壌環境の状況、3 廃棄物の発生等に関する状況、4 化学物質と環境リスクの状況、5 生物多様性の状況

人間活動によって影響を受けている環境の現状を各分野のデータにより示す。

### 第2章 地球温暖化にいち早く対応する現在世代の責任 — チャレンジ25 —

- 増加する地球温暖化の被害
- 地球温暖化対策に係るコストと便益
- 地球温暖化に対する世界の動き
- チャレンジ25という将来世代への約束

地球温暖化による現在及び将来の被害の大きさが分かってきている。対策にかかる費用は地球温暖化に伴う被害を最小化するための投資と考えるべきである。COP15の成果を踏まえ、温暖化に対応する世界と日本の動きを紹介するとともに、「2020年までにCO<sub>2</sub>を25%削減」の達成に向け、あらゆる施策を総動員する決意を示す。特に、新成長戦略を踏まえ、太陽光や排熱利用などの温暖化対策に係る日本の高い技術が、世界のCO<sub>2</sub>削減に資することを示し、真に豊かな生活を実現しながらCO<sub>2</sub>排出を抑えられる未来社会の姿を描く。

### 第3章 生物多様性の危機と私たちの暮らし — 未来につなぐ地球のいのち —

- 加速する生物多様性の損失
- 生物多様性と地球温暖化
- 生物多様性に配慮した社会経済への転換
- 地球のいのちの行方を決める生物多様性条約第10回締約国会議

生物多様性についてわかりやすく解説。地球規模で生物多様性の劣化が急速に進んでいること、生態系サービス(生態系のもたらす恵み)を持続的に享受できなくなるおそれがあることなどを示し、生物多様性に配慮した社会経済への転換の必要性を論じる。COP10に向けて、わが国がリードする主要議題(ポスト2010年目標、ABS(遺伝資源へのアクセスと利益配分)の国際枠組の構築、持続可能な資源の利用、民間参画、科学的基盤の強化等)について、わかりやすく記述する。

### 第4章 水の星地球

— 美しい水を将来へ —

- 地球とわが国の水環境の状況
- 水問題解決に向けた取組
- 世界への貢献と水ビジネス

人類の生存基盤である水資源について、世界とわが国の状況(水需要の予測、地球温暖化による水ストレス、日本の海外への水依存等)を概観する。また、水の管理・活用に成功している世界の事例、成長する水ビジネスにおける日本の役割について論じる。

### 第5章 環境産業が牽引する新しい経済社会 — グリーン・イノベーションによる新たな成長 —

- 環境産業の現状と見通し
- 持続的な経済社会活動に向けた循環産業
- 経済社会システムを変える環境技術・環境産業
- 地球環境と経済社会活動

世界とわが国の環境産業の現状を分析し、特にグリーン・イノベーションによって新たな成長・発展を指向することの重要性を、各国のグリーン・グロース戦略に見られる広範な政策支援なども交えて論じる。需要面でも消費者が企業の環境面での取組を評価し支援することを促し、環境産業の明るい将来を描く。